

# B型肝炎ワクチン

## あなたが知るべきこと

### I なぜワクチン接種を受けるのでしょうか？

B型肝炎は深刻な疾病です。

B型肝炎ウイルスは以下のような短期間(急性)の症状を引き起こします：

- ・食欲不振
- ・下痢や嘔吐
- ・疲労感
- ・黄疸(顔色あるいは目が黄色い)
- ・筋肉、関節および腹部の痛み

長期間(慢性)の症状には以下のようなものがあります：

- ・肝障害(肝硬変)
- ・肝臓ガン
- ・死亡

米国では約125万人が慢性のB型肝炎に感染しています。

下記のように推測されます：

- ・毎年、B型肝炎に感染するのは200,000人で、ほとんどは年齢の若い大人
- ・毎年11,000以上の人B型肝炎のために入院している
- ・4,000人から5,000人までは慢性B型肝炎が原因で死亡している

B型肝炎ワクチン接種はB型肝炎を予防します。肝臓ガンの発生を防ぐ、最初のガン予防ワクチンなのです。

### 2 B型肝炎ウイルスはどのように感染しますか？

B型肝炎ウイルスは、感染している人の血液および体液との接触を通して感染します。人が感染するにはいくつかの経路があり、それは：

- ・出産の時に、感染している母親からその赤ちゃんにウイルスが伝染する
- ・感染者との性交渉をもつ
- ・不法薬物を注射する
- ・仕事中に使用された注射針に刺さる
- ・レーザーナイフや歯ブラシなどを感染している人と共有する

のように感染するかを知っていれば、B型肝炎に感染しません。米国のB型肝炎患者の約1/3は無知によるものです。

### 3 B型肝炎ワクチン接種を受けるべき人と時期は？

- 1) 18歳以下の人
- 2) 危険性の高い18歳以上の大人

性交渉の相手が一人以上の人、男性同士の性交渉がある人、注射による薬物使用者の人を含み、ヘルスケア従事者や血液や体液に接触する可能性のある人は、B型肝炎に感染する危険があります。

危険があるかどうかわからない人は、主治医あるいは看護婦にお尋ねください。

✓ 以下のスケジュール表のようB型肝炎ワクチン接種は3回に分けて行われます。もしも接種を忘れたり、遅れてしまった場合には、出来る限り早くその分の接種を受けてください。最初から受け直す必要はありません。

誰？				
B型肝炎ワクチンスケジュール表	B型肝炎ウイルスに感染している母親の子供	B型肝炎ウイルスに感染していない母親の子供	年齢の高い子供、青年、大人	
時期？	初回 二回目 三回目	出生後12時間以内 生後1-2ヶ月 生後6ヶ月	生後2ヶ月まで 生後1-4ヶ月（最初の接種から少なくとも1ヶ月はたっている） 生後6-18ヶ月	いつでも 初回から1-2ヶ月 初回から4-6ヶ月

- 二回目は最初の接種から最低1ヶ月は間をあけて受けてください。
- 三回目は、最初の接種から4ヶ月、二回目の接種から少なくとも2ヶ月間をあけて受けてください。
- 三回目は、生後6ヶ月未満の子供には与えることができません。

すべての三回の投与が予防を完全にするために必要です。

B型肝炎のワクチンは他のワクチンと同時に投与することができます。

**4**

## B型肝炎ワクチンを受けるべきではないあるいは延期するべき人

...ン用イースト菌（パンを作るとき使用される種類）あるいは前回のB型肝炎ワクチンに対して命に関わるアレルギー反応があった人はB型肝炎ワクチンを受けるべきではありません。

接種を予定している時に中度あるいは軽度の病気に罹っている人は、B型肝炎ワクチン接種を受ける前に病気から回復するまで延期してください。

詳細については、主治医あるいは看護婦にお尋ねください。

**5**

## B型肝炎ワクチンの危険は何ですか？

他の薬物と同じように、ワクチン接種は重度のアレルギー反応のような深刻な副反応を引き起こす可能性があります。深刻な障害、あるいは死亡するなどB型肝炎ワクチン接種が引き起こす危険は非常に小さいです。

B型肝炎ワクチン接種はB型肝炎に罹るよりもずっと安全です。

B型肝炎ワクチン接種を受けたほとんどの人には、何の問題もありません。

### 軽度の副反応

- 接種を受けたところが一日あるいは二日痛む（子供や青少年の11人に1人まで、大人4人に約1人の確率）
- 軽度からな中度の発熱（子供や青少年の14人に1人まで、大人100人に1人の確率）

### 重度の副反応

- 深刻なアレルギー反応（非常に稀）。

**6**

## 中度あるいは重度の副反応がある場合には？

に気を付けるべきでしょうか？

深刻なアレルギー反応、高熱や行動の変化など通常では見られない状態。呼吸困難、かれ声あるいはゼイゼイと息をする、じ

んま疹、蒼白、虚脱感、動きやめまいなどがあります。これらの副反応が起こる場合は、接種後数分から数時間以内です。

何をするべきでしょうか？

- 医師に連絡するか、大至急その人を医師のところに連れて行ってください。
- いつワクチンを受け、どんな症状がおこったか、症状が起きた時の日時を医師に報告してください。
- 医師、看護婦または保健局にワクチン災難報告用紙(VAERS)を提出するよう頼むか、またはご自身でVAERSまで1-800-822-7967へ電話してください。

**7**

## ナショナル・ワクチン接種障害賠償プログラム (The National Vaccine Injury Compensation Program)

ワクチン接種後に貴方や子供に深刻な副作用が出るという稀なケースの場合には、ワクチンによる障害を持つ人の看護のために資金を援助する連邦プログラムが設置されています。

ナショナル・ワクチン接種障害賠償プログラムの詳細については、1-800-338-2382へ電話するかプログラムのウェブ・サイトをご覧ください。

<http://www.hrsa.gov/bhpr/vicp/>

**8**

## どうしたらもっと知ることができるでしょう？

- 主治医あるいは看護婦に尋ねてください。ワクチン接種に関する印刷物または他の情報源について教えてくれます。
- 地域または州の保健局の免疫プログラムに電話してください。
- Centers for Disease Control and Prevention (CDC) (疾病コントロール及び予防センター) に連絡してください：
  - 電話1-800-232-2522 (英語)
  - ナショナル免疫プログラムのウェブ・サイト  
<http://www.cdc.gov/nip>



**CDC**  
CENTERS FOR DISEASE CONTROL  
AND PREVENTION

U.S. DEPARTMENT OF HEALTH & HUMAN SERVICES  
Centers for Disease Control and Prevention  
National Immunization Program